

宮崎県循環器病対策推進協議会

脳卒中部門の取り組み

脳卒中循環器病対策基本法 脳卒中学会の対策

PSC（一次脳卒中センター）認定

- PSC施設



2024年3月現在

脳卒中相談窓口設置 脳卒中療養相談士講習会



2023年度の活動

脳卒中患者会



宮崎県脳卒中者友の会
ひなたの会

活動内容

公開日 2023/10/31 18:10
更新日 2023/10/31 18:35

宮崎県初の脳卒中者友の会が始動

皆さま、初めまして。
宮崎県脳卒中者友の会 『ひなたの会』事務局の東（ひがし）と申します。
ひなたの会は、宮崎県では初となる脳卒中者友の会です。
会の名前の由来は
ひとりでは
なやまず
たすけあい
の最初の文字を取って『ひなた』となっております。
これから脳卒中に関する情報を皆さまにお届けしますので応援のほどよろしくお願いいたします。

≡ 活動内容一覧

2023/10/31 【市民公開講座『脳卒中のはなし』のご案内】

もっと見る

宮崎県脳卒中者友の会
ひなたの会

脳卒中市民公開講座



宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野
市民公開講座

入場無料
予約不要

脳卒中

2023.12.17 (日)
14:00~16:00 (13:30 開場)

について
都城市総合文化ホールM1
(中ホール)

【プログラム】

司会：竹島 秀雄
宮崎大学医学部臨床神経科学講座
脳神経外科学分野 教授

講演1 「脳梗塞について」
都城市医師会病院 脳神経外科 部長 杉本 哲朗 先生

講演2 「脳出血・くも膜下出血について」
宮崎大学医学部臨床神経科学講座
脳神経外科学分野 助教 松元 文孝 先生

休憩10分

講演3 「脳卒中の予防について」
雅和会記念病院 副院長
脳神経センター センター長 上原 久生 先生

講演4 「脳卒中循環器病対策基本法について」
宮崎大学医学部臨床神経科学講座
脳神経外科学分野 講師 大田 元 先生

どなたでもご参加
いただけます！

主催：事務局/宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野
事務局 都城市 本町 8200 TEL. 0982-88-1128 FAX. 0982-84-4871
共催：日本脳神経外科学会九州支部会
後援：宮崎大学医学部臨床神経科学 同門会

世界脳卒中デー ライトアップイベント



今後の対策

脳卒中後の生活期支援

両立支援

脳卒中緩和ケア 意思決定支援



一般社団法人
日本脳卒中学会
The Japan Stroke Society

English

会員専用ページ
選挙専用ページ
年次報告入力ページ

学会について | 一般の方へ | 会員・医療関係者の方へ | 学術集会・関連学会 | **ガイドライン・各種指針**

TOP > ガイドライン・提言・各種指針・手引き・推奨

ガイドライン・提言・各種指針・手引き・推奨

★ **ガイドライン**

- [脳卒中における終末期医療に関するガイドライン](#) (PDF/364KB)
- [脳卒中診療における遠隔医療（テレストローク）ガイドライン第二版](#) (PDF/777KB)
- [脳卒中診療における遠隔医療（テレストローク）手順書に記載すべき項目](#) (PDF/376KB)

★ **ステートメント**

- [自宅復帰後の脳卒中の維持期（生活期）における緩和と療養に関する提言](#) (PDF/290KB)
- [自宅復帰困難な後遺症を呈する脳卒中の維持期（生活期）における緩和と療養に関する提言](#) (PDF/303KB)
- [重症脳卒中救急における治療介入のあり方に関するステートメント](#) (PDF/388KB)
- [重症脳卒中の維持期における緩和と療養に関する提言](#) (PDF/237KB)
- [重症脳卒中急性期の説明のあり方に関する提言](#) (PDF/265KB)

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

令和6年度当初予算案 2.2億円 (2.8億円) ※ ()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。
- この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

【事業創設年度：令和4年度、補助率：定額（10/10相当）】

2 事業の概要・スキーム

<事業の概要>

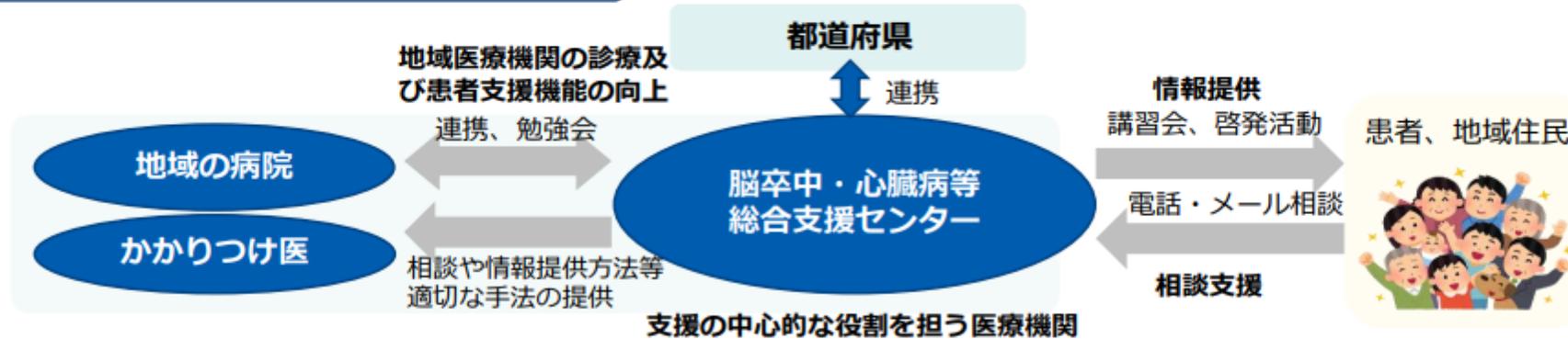
- 都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。
- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
 - ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
 - ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
 - ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
 - ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

<期待される効果>

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

- ◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関
- ①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること
- ◆箇所数：12箇所 ◆1箇所あたり：1,800万円程度 ◆事業実績：令和5年度応募数27医療機関、採択数16医療機関（15府県） 合計25府県で事業開始
令和4年度応募数32医療機関、採択数12医療機関（10府県）

脳卒中・心臓病等総合支援センターの役割

情報提供

- かかりつけ患者・家族
啓発動画・資料等の紹介
- 一般患者 市民を対象
市民公開講座など

相談支援

- 主に自院かかりつけ患者・家族を対象
センターが全ての相談を受ける訳では無い

多職種連携 ネットワーク構築

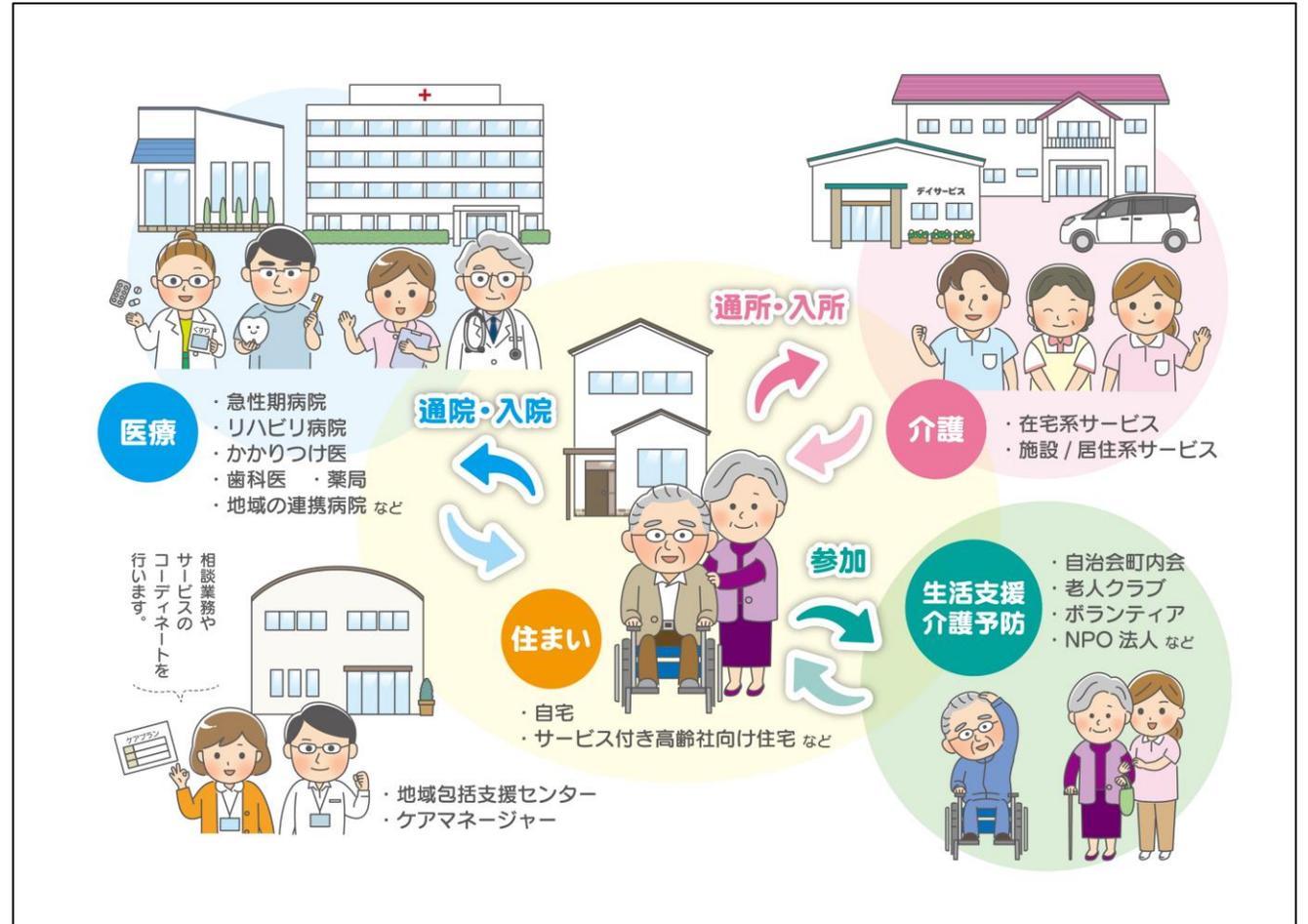
- 相談支援のハブとしての機能

脳卒中多職種連携

院内多職種連携



地域多職種連携



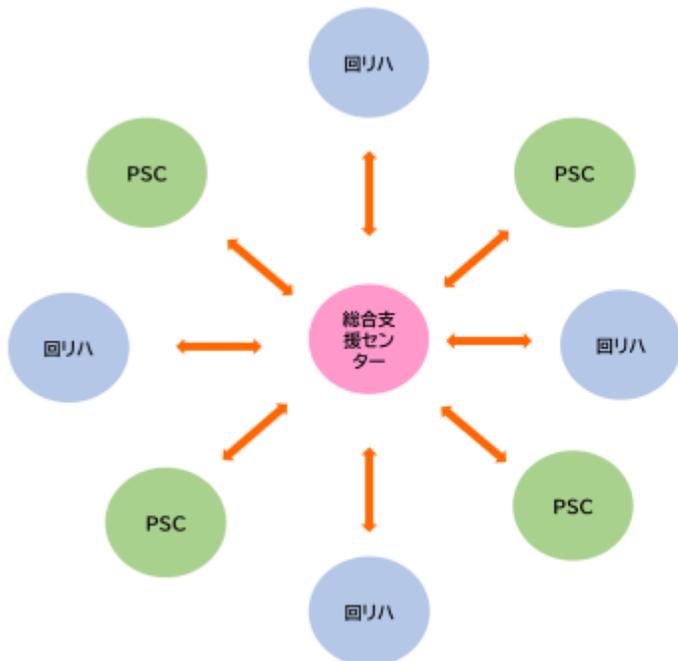
脳卒中相談窓口連携会議

宮崎県内での設立予定

全てのPSCおよび回復期リハビリテーション病院から

脳卒中相談担当MSWが指名されて組織

脳卒中・心臓病等総合支援センターはその取りまとめ役



研究班調査が行われる21府県で稼働(準備中を含む)
(2024年5月現在)



脳卒中に対する情報提供・相談支援をより有効に進めるために、関係各団体が組織的に連携することを目的とした団体

宮崎県支部の設立予定

1. 一般社団法人 日本脳卒中学会
2. 公益社団法人 日本脳卒中協会
3. 日本脳神経看護研究学会
4. 日本ニューロサイエンス看護学会
5. 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会
6. 一般社団法人 日本介護支援専門員協会
7. 一般社団法人 日本作業療法士協会
8. 公益社団法人 日本理学療法士協会
9. 一般社団法人 日本神経理学療法学会
10. 一般社団法人 日本言語聴覚士協会
11. 公益社団法人 日本薬剤師会
12. 一般社団法人 日本病院薬剤師会
13. 公益社団法人 日本栄養士会